

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
スパーキングレディーカップ	2018/7/5	JpnIII	川崎	1600m	スローペース	良	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ブランシェール	牝5	55	御神本	ダイワメジャー	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	A	A	C	B	B	B	▲	
2	2	マコトカンパネッロ	牝6	55	赤岡	デュランダル	サンデー系	ブライアンスタイル	ロベルト系	D	A	D	D	D	D		
3	3	リエノテソーロ	牝4	55	吉田隼	Speightstown	ミスプロ系	Langfuhr	ノーザン系	B	C	A	A	B	B	△1	
4	4	ドンナディヴィーノ	牝5	55	矢野	メイショウボラー	ヘイロー系	アグネスデジタル	ミスプロ系	D	B	C	D	C	C		
	5	ラーゴブルー	牝4	55	吉原	ハーツクライ	サンデー系	キングカメハメハ	ミスプロ系	B	A	B	A	A	B	◎	
5	6	シュンブウ	牝4	55	町田	サウスヴィグラス	ミスプロ系	Sadler's Wells	ノーザン系	D	C	D	C	D	D		
	7	ラインハート	牝7	55	笹川	ステイゴールド	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	B	B	C	C	B	C	×1	
6	8	ワンミリオンズ	牝5	57	福永	ゴールドアリュール	サンデー系	Yankee Victor	ヘイロー系	A	B	B	B	B	B	○	
	9	ラビットラン	牝4	57	川田	Tapit	ナスルーラ系	Dixieland Band	ノーザン系	B	A	C	C	B	C	△3	
7	10	オルクスリアン	牝5	55	繁田	キングカメハメハ	ミスプロ系	フォーティナイナー	ミスプロ系	C	B	B	C	C	C		
	11	フラワーオアシス	牝5	55	瀧川	メイショウボラー	ヘイロー系	ネオユニヴァース	サンデー系	D	B	D	D	D	D		
8	12	オウケンピリーヴ	牝5	55	ルメール	クロフネ	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	B	A	B	C	B	B	△2	
	13	マテリアメディカ	牝5	55	小杉	ゴールドヘイロー	サンデー系	アジュディケーティング	ノーザン系	D	D	D	D	D	D		

隊列図	見解	ラップタイム
リエノ ラーゴ ワンミ ブラン ラビッ オルキ シュン ライン オウケ マコト ドンナ フラワ マテリ スローペース	<p>今年のスパーキングレディーカップのカギを握るのは展開だろう。ダート戦にも関わらず近3走で逃げた馬が1頭もない組み合わせ。道中の隊列は左の通りになりそうだ。逃げるのはリエノテソーロ。今回は久しぶりのダート戦。この枠で無理に抑えて砂を被るのは嫌なはずで、本馬より内の2頭はスタート力がいまひとつなのもあり、自然とハナに立つ形になるだろう。2番手はラーゴブルー。1400mのしらさぎ賞でも先行策を打てるくらいで、2走前のティアラカップのようにスタートで出遅れなければ、出たなりでリエノテソーロの直後になりそう。(中略) ペースはスロー～ミドルを想定。確固たる主役馬が不在なら展開重視で考えるのが良さそう。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は本格化したラーゴブルーの粘り込みに期待したい。JRAの未勝利を勝ち上がれなかったが、きょうだいはデニムアンドルビー、キタノコマンドールらがいる良血馬。地方に移籍後の快進撃は単純に相手が弱かったというより、本格化した印象が強く、3走前の交流戦の圧勝劇を見ても、力をつけているのは明らかだろう。(以下省略)</p>	回顧 次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価		回顧
1	1	ブランシェクール		スピードの乗りがやや遅いので、1枠1番はネックだが、川崎1600mはスタートまでの距離があり、ほかも前に行けない馬ばかりなので、相対的に位置取りは前々になりそう。		
2	2	マコトカンパネッロ		JRAの500万下でアタマ打ちになって南関東に転厩。転入後はB2で苦戦しており、ダートグレードでは荷が重い。		
3	3	リエノテソーロ		同コースで行われた全日本2歳優駿勝ち馬で、行き切ればアッサリがあっても不思議ではなさそう。ただ近走の内容があまりにも不甲斐なく、展開の恩恵を受けたとしても馬自身が自分から走るのをやめてしまう可能性はある。		
4	4	ドンナディヴィーノ		ダートグレードでは17年スパーキングレディーカップ8着、18年マリーンアップ12着と大敗続き。今回も上位争いは難しいだろう。		
	5	ラーゴブルー		地方に移籍後、本格化した印象が強く、3走前の交流戦の圧勝劇を見ても、力をつけているのは明らかだろう。その交流戦やしらさぎ賞は着差以上に奥の深さを感じさせる内容。時計はまだまだ詰まりそうで、低レベルな牝馬限定のダートグレードなら通用してもいいだろう。		
5	6	シュンプウ		B2で苦戦している現状。ダートグレードでは荷が重い。		
	7	ラインハート		前走川崎マイルズが案外の結果。転入した当初に比べれば、勢いはなくなってきており、かつ展開も不向きになりそうなので、押さえての押さええという評価にしたい。		
6	8	ワンミリオンズ		前走アハレテケステークスは差し、追い込み決着の中、4番手追走から粘り込んで5着と中身の濃い競馬。17年マリーンカップ以降、いまひとつの成績だが、ここに来て復調してきたと見てよさそう。ほかのJRA勢のラビットラン、オウケンビリーヴより前々で運べそうなのも魅力だ。		
	9	ラビットラン		新馬がダート勝ちも、4戦目以降はすべて芝を走っており、ダートでどこまで強いかわり未知数。馬格がそれほどないので(450キロ前後)、斤量57キロは堪えるかもしれない。		
7	10	オルクスリアン		マリーンカップでは5着と健闘したが、JRA勢には1頭も先着できず。今回はJRA勢4頭に加え、地方勢もそれなりに層が厚く、マリーンカップ以上の着順を望めないのでは。		
	11	フラワーオアシス		B2で苦戦している現状。ダートグレードでは荷が重い。		
8	12	オウケンビリーヴ		1200m中心に使われているが、ややズブさを見せているので、距離はむしろ伸びたほうが良さそう。2走前には牡馬混合の1600万下を勝利しており、牝馬限定のダートグレードなら能力的に見劣ることはない。不安なのはむしろ展開。		
	13	マテリアメディカ		3歳時は黒潮盃3着、ロシータ記念4着など活躍したが、古馬になってからの成績がサッパリ。ダートグレードでは回ってくるだけで終わるだろう。		